

第六期長期計画・調整計画策定委員会 傍聴者アンケート

第21回実施分（令和5年11月6日開催） 自由記載欄

【傍聴者 会場5名・オンライン21名】

○ 今回の策定委員会で印象に残った、または興味のある議論や課題がありましたら記入してください。（傍聴者3名記載）

- ・ 41 ページ基本施策5（4）の学校改築について、パブリックコメントでは、二中、六中の統合に対しては懸念する意見が多かったと認識していますが、あえて25行目から29行目を文言に手を加えずそのままにしているのが疑問です。26～27行目は削除してほしいです。
- ・ 42 ページ（5）での議論はとても大事な議論だと思いました。今回、学校給食無償化というテーマだからこそですが、他の例えば市民的には異をとらえているものや、長計にないものが市長・議会の独断で決まってしまう懸念も感じる点があるので、計画行政、武蔵野方式は大事だと思います。
- ・ 「給食費無償化」について
多くの委員から「給食費無償化」について慎重なスタンスから推進する記述に説明がないまま変えられたという発言があり、一部の委員からは「承服できない」、「ありき」で進められているという話がありました。
私も、「給食費無償化」に対するスタンスが変わったものと認識しています。その理由の一つが松本市長の政治的考え方によるものと推測しています。松本市長は、11月5日に集会を開き「国政に挑戦する」という意向を示しましたが、新聞報道によると「給食費無償化」を進めるとあります。そもそも「給食費無償化」は政府が検討する方針を示しています。この状況で、松本市長は「給食費無償化」実現を公約の一つに掲げると予想されます。そして、「給食費無償化」を実現したというのでしょうか。その時に、長期計画調整計画で慎重なスタンスだったのではないかと、言われたくないために「給食費無償化」を推進する方針に変えた可能性は高いと私は考えています。なお、市職員が「給食費無償化」に対するスタンスは以前と変わっていない、というような発言をしていましたが、議論を追っている限り、スタンスは変わっていると認識しています。
- ・ 「将来人口推計」について
全国的に人口が減少する中で、武蔵野市の将来人口推計は現在の14.8万人から16.1万人に増加します。そのトレンドを「微増」と表現されています。この点について、修正が必要だとお伝えしましたが変わっていないのは非常に残念です。私は『右肩上がりに増加し続ける』が正しい表現だと考えています。変化率が小さいからという説明が委員からありましたが、人口推計の変化は企業の売上の変化とは全く異なる性質ものです。『微増』という表現はミスリードするものであり、承服しかねます。
- ・ 「長期財政シミュレーション」について
武蔵野市は、「駅周辺の再開発に係る費用や都営水道一元化など」の費用が未知数だから財政計画に織り込まないとしています。本日の議論で委員の方からそれでよいのかという発言があった

と思います。

「長期財政シミュレーション」について、「市税収入や税連動交付金等*の収入が予測どおり推移した場合、公共施設の大更新期を基金が枯渇することなく乗り切れる見通しが確認できた」と言い切ってよいのか、強い疑問を持たざるを得ません。「駅周辺の再開発に係る費用や都営水道一元化などの費用」は数百億円レベルで必要となると聞いています。その負担が生じることになっても、「基金が枯渇することなく乗り切れる見通しが確認できた」と言えるのでしょうか。私の予想は、少なくとも織り込まれていない負担があることでこの表現のようにはならない可能性が高い、というものです。

少子高齢化が進む中で武蔵野市は右肩上がりの将来人口推計値のみに基づく長期財政シミュレーションおこなっているということを含めて、説明責任が果たされているのか、という点について疑問に思います。

・ 「公文書管理」について

「公文書管理」について、「政策過程が確認できていない」という指摘に対応できているのかという発言が委員の方からあったと思います。市職員は「対応している」ということでしたが、議会で議論されている「公文書管理」の問題としては、

・ 駐輪場の附置義務について、隔地駐輪の距離を市は議会と議論することなく「100mから300mに変更」しました。「武蔵野市自転車等の適正利用及び放置防止に関する条例」では、第16条で「自転車等の駐車対策に関する重要な事項について調査審議するため、武蔵野市自転車等駐車対策協議会（以下「協議会」という。）を置く。」と定めています。しかしながら、協議会での議事要旨を確認しても、調査審議した記録はありません。これでは「政策過程が確認できない」と言わざるを得ません。調査審議しなかったことは公文書管理法第4条に違反の可能性がある。というものです。現在は、協議会で調査審議したかどうかは一切分からない状況にあります。調査審議していない可能性も否定できないのです。これは対応していると言えるのでしょうか。その他、残さなければならないものが残されていないということが確認されています。決算数値の誤りも複数確認されています。内部統制制度の導入について積極的な市政にない状況について、非常に残念に思います。

・ 入札不調について

委員会で「入札不調が悪い」とされている、という話がありました。これは決して良いとは言えないものではあると思いますが、「入札不調になったから問題だ」というよりも主張としてあるのは、「このような社会情勢の変化が大きい中で、高額な事業費を投入して拙速に事業を進めるのではなく、慎重なスタンスで対応すべき。公共施設等再整備計画については抜本的に見直す必要があるのではないのか。」というものです。誤解されないようお願いしたいと思います。武蔵野市は30年間で3000億円の事業費を公共施設の再整備のために投入するとしていますが、その費用は昨今の資材高騰で少なくとも1.3倍以上になります。計画の見直しが必要ではないでしょうか。

なお、消防団第2分団の仮設プレハブ建設が入札不調になり再入札することについて、当初は執行部は議会と議論することなく『即決』することを求めました。「ありき」で「議論することなく」、進めようとしたというのが事実としてあります。

改めてお伝えすると、入札不調問題は、「拙速に進めるというのではなく、計画は慎重なスタンスで見合わせることも選択肢として、公共施設の再整備を進めるべきではないか」という議論にあります。なお、入札不調問題については、市民の皆様には現状の問題について説明を尽くすということも必要だと考えています。

- ・ p. 31 「妊娠に関する相談についても…」→不妊等妊娠したい人たちの相談だけでなく、望まない妊娠についても相談にのってくれるのでしょうか。そのように読み取れますがいかがでしょうか。
- ・ 子ども・教育分野：私立幼稚園、給食無償化、部活…なんだか滑り込みでねじ込まれた印象。
- ・ p. 43 給食費無償化について。自分は給食費無償化について肯定的だが、手続き論や優先順位や財源等、委員からの指摘はもっともだと思いました。次の ver. で書き込みがどう変わっているか興味深いです。
- ・ p. 43 「武蔵野市が取り組んできた質の高い給食提供の取組みを継続・発展させる」→内容は伝わるが「取り組んできた」「取組み」と一文に二つ続くのは違和感があります。
- ・ p. 43 「武蔵野市が取り組んできた質の高い給食提供の取組みを継続・発展させる」→「継続・発展」と言ってる時は怪しい。境幼稚園を廃園して境こども園にした際に、「境幼稚園の幼児教育の取組みを継承・発展させる」と保護者に約束しながらまったく履行されなかった苦い経験があります。このワードの裏に、例えば現在の給食・食育振興財団から給食事業を民間企業に渡す未来が想定されていないかどうか、策定委員からワーキングにご確認いただきたいです。
- ・ 「施設の葬り方」「市民の想いをアーカイブする」とても共感できる考え方でした。
- ・ p. 70-71 イーストエリアについて。まちの発展という光に必ずついてくる影、環境悪化というが都市として避けられない引き受けざるを得ない猥雑なもの・不良なものがあると思う。近隣に住居がある市民には同情するが、そもそも東京自体が「地方からやってきた者に好き勝手作り変えられたまち」で、まちの蹂躪の歴史を見てきた江戸っ子からするととっても NIMBY に思えてしまいます。別の議論であった「市民がやってほしいという施策を何でもひきうけるわけにいかない」と同じで、環境を浄化(…)するにも法的限界があるでしょうし、どこまで行政は付き合えばいいのか？
- ・ p. 71 境南ふれあい公園の芝生については、いままでの「芝生養生と失敗の歴史」「市議会でどんな議論がなされ、どのような議論をもって『現状維持』となっていたのかのまとめ(その際に提示された維持管理費用等金額面での資料も)」など、経緯をまとめて公表してからの検討が必要だと思っています。自分はこの議論があった頃の議会を傍聴して経緯を知っているので、現在の公園の状態には地元民として理解しています。あの頃の議論が市民に広く伝わっていないから、今更蒸し返されているのではないかと。
- ・ p. 76 入札不調に対する不安視について。必ずしも本当に「不安に思っている」とは違う別の意図をもって「不安だ」と言っている市民もいるのではないかと思います(残念ながら一部市議も)。入札不調を責める事によって得られる“効果”があると考えて「不安だ」と言っているのではないかと見えることもしばしば。委員提案のように「入札不調の結果だけを見ない」という一言はあったほうが良いと思います。
- ・ アフターマティブアクションについて。できていないうちは言い続ける必要があると思います。
- ・ p. 78 女性職員が管理職試験を受けてくれないのは「家事や子育てを主体的に担っていない人に

合わせた職場環境・仕事スケジュール」「家庭内での家事・子育て等の家庭内分業の不調」「子どもや介護が必要な家族の預け先がない」など、自分が管理職になってしまったら詰む要因がどこにあるからではないでしょうか。「家事や子育てを主体的に担っていない人に合わせた職場環境・仕事スケジュール」については庁内で変えられます。変えていってほしいです。

○ その他、ご意見・ご感想などありましたら記入してください。（傍聴者3名記載）

- ・ 41 ページの 33～35 が、(5) ができたために浮いてしまった気がします。給食無償化をすすめるにあたり、現在の給食費の徴収方法や、給食食育財団が毎年5億円の市の事業を請け負うことになるのか、給食施設の設備、食材の安全性、安定供給など考える必要が多々あります。トップダウンで決まった他市も苦労しているようです。給食無償化は「義務教育は無償」であれば、国がきちんと保証してほしいものです。
- ・ いつも勉強になります。ありがとうございます。
- ・ 委員会に参加されている皆様が真剣に調査して、また、議論されていることについて心から感謝申し上げます。
- ・ 策定委員の意見はとても正直で、傍聴していてとても気持ちのいい会議です。真摯な議論をありがとうございます。
- ・ アンケートを会議翌日にフォームで提出できるのはありがたいです。
- ・ オンライン傍聴の締め切りは、せめて会議当日午前中いっぱいにしてほしい

※文字及び文章はできる限りアンケートに記入されていた原文のまま記載しています。
また、委員名については削除しています。